

# 子ども・若者たちと 新しい明日をつくる



「子供の未来応援フォーラムin東京」活動発表

2019年12月

公益財団法人あすのば

事務局長 村尾 政樹

(北海道大学大学院教育学院 社会教育研究室)

[murao.m@usnova.org](mailto:murao.m@usnova.org)



# はじめに：あすのぼについて



私たち公益財団法人あすのぼは、

**「子どもの貧困がなくなる社会」**

を目指して活動しています。



# はじめに：あすのばについて



## 調査・提言



実態調査、訪問聴き取り  
ロビイング、集会 など

## 中間支援



全国47都道府県キャラバン  
支援実践者向け研修会 など

## 直接支援



入学・新生活応援給付金  
学生世代の合宿行事 など





# 活動紹介



たすけてと  
言いたいとき  
もある

大人の階段を上る事がこんなにも複雑な気持ちになるなんて、

小さい頃にはわかりませんでした。

親がいて、家に帰った瞬間に「ご飯を食べろ。一語も言えよ」といふ。

でも、年齢がよくなるにつれて、大人が忙しすぎて、家に帰る時間が短くなって、

今まで一語にいた時間があつたままじゃなくなりました。

父が仕事ができないため生活がギクギクです

たすけてください

TEL



父のしらくわい年金だけの生活です(月10万円)

給付金、お礼状などが届いていません。

自分は、野球部のマネージャーを勤めています。

けれど、母子家庭ということもあり、下には2人の子供がいることもあり、

部活動も辞めざるを得ない状況に陥りました。

まだ辞める決断がはたいていできていません。

辞めようと思っっています。

母子家庭でこんな生活は、苦しくて、

父親がいなくなってからは、一人に任せてもらって初めて気づきました。



# 活動紹介



子どもたちの声を聞く

子どもたちの心の声を**聴く**



# 活動紹介



みなさんが「**子どもの貧困**」に  
関心を持つきっかけは何ですか？





# 活動紹介



1995  
阪神・淡路大震災



2002 母の死



# 活動紹介



## 「夢と希望を」だけでは**無責任**

2011



2014







# 活動紹介



自殺対策全国民間  
ネットワーク

## 弱かったのは、 個人でなく、社会の支えでした。

毎日100人近くもの方が、自殺で亡くなっています。  
「弱かっただけ」「逃げただけ」。社会が向ける眼差しは、いまだに冷たく一方的です。

しかし、亡くなる人たちは、決して特別な人たちではありません。  
過労や失業、いじめや介護疲れといった社会的要因が、  
こころの問題などに連鎖して、人を自殺へと追い詰めるのです。  
追い詰められた人は、最後まで「ごめんなさい」といいながら、亡くなっていくのです。

自殺は、私たちの日常と深く関わる社会問題であり、  
その多くは、社会的対策によって「避けられる死」です。

私たち自殺対策全国民間ネットワークは、24時間・365日、フリーダイヤルで  
電話による相談をお待ちしています。

もし、あなたの周りにつらい思いを抱えている人がいたら、相談窓口の情報を  
そっと教えてあげてください。ひとりですべての悩みを受け止めることは難しくとも、  
その情報が、その人の力になれるかも知れません。

一人ひとりの理解と協力が集まれば、生きることを強く支えられる社会を築けると信じています。



寄り添いホットライン(自殺相談ダイヤル) ☎0120-279-338 24時間  
フリーダイヤルが利用できない地域にたいくつらい悩みを抱えている方が、お電話を掛けたとき、お電話がダイヤルの受付員につながらず、お電話が切れることがあります。

いのちと暮らしの相談ナビ   <http://lifelink-db.org>  
お電話される「悩み」を鑑別していくと、お電話の相談窓口が変更になります。携帯・スマホでも利用できます。



さいごに



子どもの貧困は、  
子どもの問題じゃなくて  
**私たち**の問題

“日本まるごと子ども食堂”へ！